

学校だより 10月号

令和5年9月29日



横浜市立義務教育学校

緑園学園

RYOKUEN COMPULSORY EDUCATION SCHOOL

横浜市泉区緑園五丁目28番地 前期課程 ☎045 (811) 6710 後期課程 ☎045 (811) 6030

実りの「秋」

校長 野口 弘之

「秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ おどろかれぬる」とは、古今和歌集の秋歌の最初の歌です。「秋が来たと、目にははっきりとは見えないけれど、風の音ではっと気付かされたことだ。」という意味です。視覚よりも聴覚や感覚で秋の訪れを感じていることがよく分かります。今年は、9月に入っても猛暑が続いていましたが、朝晩に虫の音が聞こえ始め、そして、お彼岸の声を聞き、やっと暑さから少し解放された感じがしています。

ところで、先日の全校朝会の折に、「〇〇の秋」というテーマで児童生徒の皆さんにお話をしました。四季の中でも、特に秋は、「〇〇の秋」と表現され、過ごしやすい季節の中、人々がさまざまな活動や食などを楽しむ季節です。「紅葉の秋」「スポーツの秋」「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」「収穫の秋」など、さまざまな「秋」があります。「秋」の漢字には、もともと「いねの実ること」という意味があります。まさに「収穫の秋」の意味ですが、本校では、ひと足早く「芸術の秋」や「スポーツの秋」を体験しています。先日、5年生と横浜市教育委員会主催の「ふれあいコンサート」に行ってきました。多くの児童が初めてオーケストラの生演奏を鑑賞しました。曲目は、CM等でも聞き覚えのある曲も多く、子どもたちは楽しんでいる様子でした。中には、指揮者を真似て手を振りながら鑑賞していた人もいました。この中から、将来、オーケストラや音楽関係の職業に就く人がいるかもしれませんね。

一方、後期課程の「表現・未来デザイン科」の授業では、昨年度と同様の吟詠や陶芸、能などに加えて、俳句、書道、ウクレレなど11のコース別の授業が始まりました。また、先日は、地域の福祉施設で、吹奏楽部が演奏を披露しました。まさに、「芸術の秋」ですね。そして、「スポーツの秋」、部活動では、バスケットボール部男子が泉区大会で優勝、女子が3位になりましたし、ソフトテニス部男子が横浜市大会で3位の成績を収めました。緑園学園では、早くも、さまざまな「秋」が始まっています。朝会では、今年の秋に頑張りたいこと、楽しみたいことを考えましょうと話しました。「読書の秋」「漢字の秋」「計算の秋」「部活の秋」など、児童生徒の皆さんには、それぞれの秋を楽しみ、充実させてほしいと思います。一人ひとりにとって実り多き秋になることを期待しています。

このように本校では、ESDを教育活動の基盤として、独自教科である「表現・未来デザイン科」や他の教科、行事等の活動で本物体験を重視しています。教室で学び、身に付けた知識や技能は、体験や経験と結び付く中で定着し、思考力や判断力、表現力に確実につながっていきます。緑園学園では、これからも本物体験を重視しながら、子どもたちの資質・能力の育成に取り組んでまいります。